



2024年5月15日

各 位

会社名 クボテック株式会社
代表者名 取締役社長 久保 哲夫
(コード番号 7709 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理部長 記虎 政史
TEL (06)6443-1815

スタンダード市場上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況(計画期間の変更)

当社は、2023年6月30日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容を開示しております。

この度、東京証券取引所より「上場維持基準(分布基準)への適合状況について」を受領し、当社の基準日である2024年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況

当社の2024年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況及び推移につきましては、下表のとおりとなっております。上場維持基準のうち「流通株式時価総額」については2024年3月31日時点においても基準を充たしておりません。下表のとおり、「流通株式時価総額」に関しては2025年3月31日までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合 状況及び その推移	2023年3月31日時点	3,285	41,066	8.8	29.7
	2024年3月31日時点	3,583	40,466	9.8	29.2
上場維持基準		400	2,000	10.0	25.0
計画期間				2025年3月末	

(注) 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価(2023年4月1日～2024年3月31日)

当社は、2023年6月30日付「上場維持基準の適合に向けた計画」において、流通株式時価総額の向上を基本方針とし、新規事業・新製品の開発・販売など事業構造の改革を進め、収益の拡大による業績の改善を図ってまいりました。しかしながら客先の設備投資計画の変動や、納期の長期化の影響などで、安定した収益力の回復までにはしばらく時間を要するものと考えられます。

当期において6期連続して営業損失を計上し、業績の低迷が株価下落の主たる要因と判断しております。また、株主構成において既存株主の非流通株式の保有割合が高いことも、その要因であると認識しております。

3. 今後の課題と取組内容

流通株式時価総額の向上を図るため、計画期間を延長し以下の取組を実施し、さらに社内で複数のプロジェクトチームを立ち上げ、各事業を横断的に戦略的な製品開発を推進してまいります。

①業績の改善

収益拡大の施策として、画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めてまいります。

これら施策によって収益力向上と財務体質強化を図り、今後の成長と安定した経営基盤を築いてまいります。

②流通株式の増加

既存株主や市場環境への影響を勘案し株価に与える影響を最小限に留めながら、支配株主が保有する非流通株式の売却を促進し、流通株式の増加を図ってまいります。

③サステナビリティ経営への取組及びIR活動の強化

当社は、「技術は人のために」を企業理念とし、様々な社会課題に対して技術力を生かして克服することによって持続的な成長と企業価値向上を図る、サステナビリティを意識した経営を推進してまいります。

また、当社は適時適切な経営情報の開示に努めるとともに、年2回の決算説明会など株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図っておりますが、活動内容については積極的に情報を発信してまいります。

以上